

めん羊と山羊の腰麻痺予防

腰麻痺（脳脊髄セタリア症）は日本などの極東地域に限定された病気です。原因となる指状糸状虫は広く日本の牛に寄生していますが、牛への障害はありません。牛から吸血した蚊がめん羊や山羊へ刺すことで、体内に糸状虫が注入され、脳脊髄に寄生することで発症します。

症状

歩様異常、起立困難、舌や耳の脱力、斜頸
起立不能が続くと栄養失調、感染症により死亡

予防

イベルメクチンを1か月間隔で注射

5月～10月まで（6回）

※注射には診療費がかかります。



腰麻痺予防を希望される方は、
丹後家畜保健衛生所までご相談ください。